

## 門真市立砂子小学校

校長 満永 誠一

## 令和3年度 すぐすくウォッチ結果のお知らせ

今年度5月27日に実施されたすぐすくウォッチについて、本校の結果をまとめましたのでお知らせします。この調査は、5年生と6年生において、今年度より実施された調査で、国語・算数・理科(5年生)、わくわく問題(教科横断的問題)、児童アンケート(5・6年生)について行われたものです。わくわく問題とは、教科横断的な学習を進めるうえで欠かせない、答えが1つでない問題や多様なテキスト(動画を模したもの等)、解答の表現方法、プログラミング的思考につながる問題です。

学校全体の傾向を示すものではありませんが、1年生から積み重ねてきた学習指導の結果を反映したものであり、学校ではその結果を踏まえて、今後の授業改善などの学力向上対策に役立てまいります。

## I. わくわく問題の概要

## ① 大阪府平均との比較

大阪府平均と比較すると学校平均は-5.2%となっており、少し下回っています。

## ② 正答率が高かった問題例

・身の回りの問題やニュースなどに興味や関心を持ち、周りの人に伝えたいことを考えて表す。

・選んだ資料をもとに、伝えたいことを具体的に考え、説明する。

## ③ 正答率が低かった問題例

・図や表、文章などのつながりを見つけ、順序よく筋を通して考え、正しく書く。

・資料の内容を読み取って、数値の変化を計算する。

## 2. アンケート調査の概要

## 生活習慣・学習習慣等について

	項目	自校	大阪府
1	自分にはよいところがあると思う	78.0%	80.3%
2	先生はあなたのよいところを認めてくれる	82.5%	87.6%
3	家の人にほめられることがある	85.0%	89.4%
4	話し合いをする時、自分の意見と他人の意見を比べている	45.0%	68.0%
5	解答を理解できないと気持ちが落ち着かず、なんとか理解しなければと思う	72.5%	66.3%
6	誰もやったことのない物事にとても興味がある。	72.5%	67.3%

## 3. 今後の取組について

本校の子どもたちの府の学力調査『すぐすくウォッチ』の正答率(得点)とアンケート設問についての関係性を調べたところ、上記の設問4、5は正答率(得点)にもプラスの影響を与えることがわかりました。また、設問6のように『誰もやったことのない物事にとても興味がある』という設問や、その他の設問である『新しいことに挑戦することを好きだ』についても正答率(得点)にプラスの影響を与えていました。また、「授業でコンピューターやタブレットを使って、自分の考えをまとめたり、書き込んだりしている」という設問は『すぐすく問題』と『国語』の結果にプラスの影響を与えており、「ふだん(月曜日から金曜日まで)のゲーム機・タブレットなどの利用時間の少なさ」は算数と理科の結果にプラスの影響を与えることもわかりました。このように、興味関心や好奇心、パソコンなどの機器をうまく使うことと、家庭でのゲームなどの時間を減らすことが、本校の5年生の学力向上においては大切なことであると考えられます。今後の取組でもこうした点に重点を置いていきたいと思いますので、ご家庭でのご協力もよろしくお願い申し上げます。

## 4. 保護者の皆様へ

本日、お子様の個人成績もお渡しします。ここに示したの全体の傾向と合わせて見てください。ただ、この調査でわかるのはあくまでお子様の様子の一部であることもご理解ください。今後、この結果をもとに授業の改善や心や体の教育についても進めていきます。